

各位

上場会社名 株式会社 シー・ヴィ・エス・バイエリア  
 代表者 代表取締役社長兼営業本部長 上山 富彦  
 (コード番号 2687)  
 問合せ先責任者 執行役員管理本部長 鱒淵 晃  
 (TEL 043-296-6621)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績動向を踏まえ、平成29年4月10日に公表いたしました平成30年2月期(平成29年3月1日～平成30年2月28日)の業績予想につきまして、下記の通り修正いたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成30年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,230	115	96	20	4.05
今回修正予想(B)	29,350 ～29,400	20 ～50	100 ～130	—	—
増減額(B-A)	120 ～170	△95 ～△65	4 ～34	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年2月期)	29,452	△33	213	198	19.13

平成30年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,387	30	30	18	3.65
今回修正予想(B)	22,537 ～22,587	△60 ～△30	50 ～80	—	—
増減額(B-A)	150 ～200	△90 ～△60	20 ～50	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年2月期)	22,816	△77	200	125	25.43

#### 修正の理由

主な要因は、個別業績において、コンビニエンス・ストア事業における売上高は概ね堅調に推移いたしました。株式会社ローソンとの吸収分割契約締結に伴う各種報酬手数料などを計上したほか、分割承継店舗において季節商品の在庫処分などを例年より前倒しで実施したことも影響し利益率が計画に対して未達となりました。

一方、ホテル事業においては、ユニット型ホテルの売上高・稼働率ともに前期と比較し大幅な伸長が続いているものの、昨年の初夏時期において売上高、稼働率が低迷した影響や、積極的な広告宣伝を実施したことなどから、営業利益が予想を下回り、営業損失を計上する見込みです。

また、所有する投資不動産に係る修繕工事の一部において、完工が来期に繰り越されたことにより不動産管理費用が期初計画比で減少したことで、経常利益は増益となる見込みです。

なお、当期純利益については、開業から満2年以上が経過する複数のユニット型ホテル施設において、開業時の計画と比較し収益化に遅れが見られることから減損の兆候を認識しており、当該固定資産(平成30年2月期末時点見込みで、総額約13億円)の一部について、今期末において減損処理が必要となったことから、純損失となる見込みですが、現在、減損損失の金額を精査しているため、一旦未定としますが、数値が確定次第改めて公表いたします。

連結業績においても、同様の要因により修正を行うものです。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。